

サルコペニア有無による免疫チェックポイント阻害薬の有効性の臨床的研究

1. 研究の対象

2016年1月～2019年8月までに当院で免疫チェックポイント阻害薬による治療を受けられた肺癌患者

2. 研究目的・方法

サルコペニアは癌治療における予後不良因子として注目を受けております。肺癌領域において適応が拡大されてきた免疫チェックポイント阻害薬でも、サルコペニアの有無が治療効果に影響を及ぼす可能性が示唆されておりますが、まだ検討している報告は少なく明確ではありません。

本研究を行うことで、サルコペニアの有無によって免疫チェックポイント阻害薬の治療効果を比較検討することで、サルコペニアが治療効果や予後に影響を及ぼすかが推定出来ると考え、調査を行います。

研究期間は、倫理委員会承認日から西暦2020年4月30日までとします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、CT画像、副作用 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：静岡県磐田市大久保 512-3

連絡先：0538-38-5000

担当者：北原 佳泰（呼吸器内科）

研究責任者：

磐田市立総合病院呼吸器内科 部長 妹川 史朗